

1 単元 Unit 3 My Future Job

2 目標

- 不定詞の文の形・意味・用法に興味をもち、積極的にコミュニケーションしようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 不定詞の3つの用法を用いて、話したり、書いたりする。  
(外国語表現の能力)
- 不定詞の形・意味・文中での用法を判別し、正しく理解する。  
(外国語理解の能力)
- 将来の職業と英語学習について意見を述べた文を理解する。  
(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

この単元では、新出表現として不定詞を中心に学習をする。to + 動詞の原形というシンプルな文構造ながら、副詞的用法・名詞的用法・形容詞的用法と3つの用法があり、生徒にとっては混乱しやすい表現である。to + 動詞の原形の形に何度も触れさせ、自身で意味を理解するために、反復練習が必要であると考え。また、中学2年生を、自分の将来の職業やしたいこと、英語学習の目的について長期的視野に立って考える時期であると考え、これを契機とし英語学習への意欲を高めたい。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は、英語の授業に意欲的に取り組んでいる。新しい表現を積極的に読んだり、書いたりすることで習得しようとしている。週末の単語練習やスペリングコンテストへの取り組みを通して、語彙力を増やそうと努めている生徒も多い。また、週1回の English communication の時間では、言語活動を多く取り入れ、自分自身で考えて話したり、相手の言葉に反応するリアクションの表現などを使用する機会を多く設けている。実態調査では、既習事項の to の意味は理解できている生徒が多いが、未習の不定詞については理解している生徒は少ない。既習の to の意味と不定詞の to の用法をしっかりと区別させて指導する必要があると考え。

○実態調査 (男\*人, 女\*人 計\*人 6月11日調べ)

1	〔既習〕 to の日本語の意味を書きましょう。 【～へ, に】 ○正答*人 ○誤答・無答*人
2	〔未習〕 I went to Kyoto to see Kinkaku-ji. (私は金閣寺を見るために京都に行った。) ○正答*人 ○誤答*人 ○無答*人 誤答例 (私は京都に行って金閣寺に行った, 私は京都に行って金閣寺を見た。)

(3) 指導観

本時では「～するために」と目的を表す副詞的用法を学習した後、それを含む英文の前半部分と後半部分を、意味のある文になるように組み合わせる活動を取り入れる。この活動では、両方の意味をしっかりと捉えることが重要であり、生徒に多くの表現に触れさせ、自分で適切な選択をさせる機会を多く与えたい。

4 指導計画 (5時間取り扱い)

- 第1次 不定詞 (副詞的用法) … 2 時 時
- 第2次 不定詞 (副詞的用法) … 1 時 間
- 第3次 不定詞 (名詞的用法)・復習 … 2 時 間

次	時	主な学習内容	観点別評価規準
1	1	不定詞 (副詞的用法) の形・意味・用法を理解する。	英語のルールに興味をもち、内容を理解しようとしている。(関・意・態)
	2 (本時)	不定詞 (副詞的用法) を使って表現する。	新出表現を理解し、表現を組み合わせ正しく英文をつくることできる。(表現)
2	3	不定詞 (名詞的用法) の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。	新出表現や内容を理解することができる。(理解)
3	4	将来の職業と英語学習について意見を述べた文章を読んで内容を理解することができる。 不定詞 (形容詞的用法) の形・意味・用法を理解できる。	新出表現や内容を理解することができる。(理解)
	5	将来の職業と英語学習について意見を述べた文を読んで内容を理解することができる。 これまで学習した不定詞の形・意味、文中での用法を判別し、正しく理解することができる。	それぞれの用法を理解し、動詞を正しい形で使用することができる。(言語・文化)

5 本時の学習

(1) 目標

- 不定詞（副詞的用法）を理解し、英文の前半部分と後半部分を適切に合わせ、正しく英文をつくりすることができる。

(2) 準備・資料

マッチングカード，実物投影機，パワーポイントファイル

(3) 人権教育の視点

- ・ペアやグループでの会話・活動を通して、友だちの発言に対する肯定的態度を育てる。  
(価値的・態度的側面)
- ・英語での適切な自己表現や肯定的表現をするコミュニケーション技能を身に付けさせる。  
(技能的側面)

(4) 展開

※人権教育に関わる配慮等

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価	
	JTE	ALT
<p>1 <b>Greeting</b> (挨拶) <b>Warm-up</b> (ウォームアップ)</p> <p>2 <b>Knowing Target</b> (ねらいを知る) 不定詞（～するために）の表現を用いて、正しく英文を組み立てよう。</p> <p>3 <b>Matching and Writing</b> (1) <b>Review the expressions</b> (表現の復習) Q : Why did you join ( ) club? Q : Why do you come to school? Q : Why do you study English? A : - To ( ) 【Reaction Words】 Oh, I see. / That's great. / Cool! etc</p> <p>(2) <b>Matching</b> A : Hi! 【 】 This is my card. Show me your card, please. B : Sure. Here you are. A : Do you think it's OK? B : I think so. / I don't think so.</p> <p>(3) <b>Writing</b> E X) ○ I come to school <b>to have</b> school lunch. ○ Ms. Ikeno teaches English <b>to enjoy</b> it with her students.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の意識を英語学習へと向ける。</li> <li>・音読が苦手な生徒を支援する。</li> </ul> <p>・生徒とともに不定詞の表現の確認をする。</p> <p>※相手の顔を見てアイコンタクトをとりながら、会話をし、最初と最後の挨拶や、相手の言葉に肯定的に反応する表現を入れるように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のカードの英文の意味を確認させる。</li> <li>・全員を半分に分けて、英文を持たせ、自分のカードと意味の繋がるカードを探させる。</li> <li>・質問ができない生徒の支援をする。</li> <li>・うまくマッチングできない生徒にヒントを与える。</li> <li>・お互いのカードをよく見て、意味のある英文になるかどうかを確認するように伝える。</li> </ul> <p>※グループ内の情報を共有して、班員同士で協力しあって英文を完成するよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班員同士で <b>to + 動詞</b> の原形の形に注意しながら、英文をできるだけ多く書くように伝える。</li> </ul> <p>⑦ 「～するために」という意味の不定詞の副詞的用法を理解し、正しく英文をつくりできたか。 【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価カードを記入し、次時の予告をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な挨拶をする。</li> <li>・Warm-up の説明をする。</li> </ul> <p>・完成度の高い英文には賞賛の声をかける。</p> <p>・本時の活動への評価をする。</p>
<p>4 <b>Conclusion</b> (まとめ)</p>		